

自然と共生していくために、自然環境の保全に努めるとともに、限りある資源とエネルギーの有効利用を図り、環境にやさしい循環型社会の構築を目指します。

また、災害に強く、犯罪や交通事故のない誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

**【 施策の概要 】**

基本施策	施策を構成する主な事務事業
1 環境の保全	環境保全意識の啓発、環境調査・発生源対策、森林の保全・再生
2 循環型社会の構築	ごみの収集運搬、し尿・汚泥の適正な処理、5R の推進
3 地域防災の強化	地域防災計画の習熟、消防防災・救急救助活動の運営、消防団の強化
4 安心なまちづくりの推進	防犯対策の充実・強化、交通安全対策の充実、空き家の利活用

**【 施策の指標・目標の達成状況 】**

施策	指標・目標 ※ （↓）は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。		R6 年度 の実績	R7 年度 の目標値
1	1	道路や空き地にごみなどが少なくまちが清潔だと考える市民の割合	65.5%	75.0%
	2	市民・団体の環境イベント開催数	32 回	30 回
	3	豊かな自然に恵まれていると考える市民の割合	89.5%	95.0%
2	4	ごみ減量化や資源リサイクルが進んでいると考える市民の割合	51.9%	75.0%
	5	市民 1 人 1 日当たりのごみ排出量 （↓）	892 g	850 g
	6	市民 1 人 1 日当たりの家庭ごみ排出量 （↓）	748 g	700 g
3	7	自主防災組織の設立数（全 132 区中）	112 区	120 区
	8	避難拠点や自主防災組織が整備され災害に強いまちだと考える市民の割合	30.0%	40.0%
	9	防災士資格取得者数	116 人	100 人
4	10	犯罪が少なく安心して暮らせるまちだと考える市民の割合	78.6%	87.5%
	11	交通事故発生件数 （↓）	41 件	30 件
	12	消費者保護対策が充実していると考え市民の割合	20.1%	30.0%
	13	特定空家等の件数 （↓）	6 件	8 件

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
1	子どもへの環境教育について、発達段階に応じて実施されたい。
2	<p>ごみの排出量が増加したが、北陸新幹線開業に伴う影響も考えられるので、分析できると良い。</p> <p>ゼロカーボンシティの取り組みについて、何を重視して今後取り組んでいくのかを示すことができるよう検討されたい。</p>
3	BCP（事業継続計画）について、職員全体が内容を把握するように、定期的な確認や訓練に取り組まれない。
4	警察やその他関係団体との連携を図り、特に高齢者に対する交通安全の啓発に努められたい。

赤ちゃんから高齢者まで、健常な人もそうでない人も、誰もが生涯にわたって健やかに人生を過ごすために、健康、福祉、社会保障の各分野において連携のとれた施策を展開することで、いきいきと暮らすことができるまちづくりを推進します。

**【 施策の概要 】**

基本施策	施策を構成する主な事務事業
5 保健医療の充実	市民検診の推進と保健指導、予防接種の推進、総合的な支援体制の強化
6 健康づくり活動の実践	健康に対する意識の醸成、生活習慣病の予防、食育推進計画の推進
7 地域福祉の推進と災害支援	地域福祉活動支援事業、民生委員・児童委員との連携・支援
8 人権の尊重	男女共生社会の推進、男女平等意識の啓発
9 高齢者福祉と介護保険の充実	高齢者の生きがいと健康づくりの推進、介護予防事業の推進、フレイル予防事業の充実
10 障害者福祉の充実	障害者福祉計画の推進、障害者福祉サービスと見守り体制の充実、権利擁護体制の充実
11 児童福祉の充実	認定こども園における保育・教育サービスの充実、放課後子どもクラブの運営、あわらっこ子育て支援の充実
12 社会保障制度の充実	国民健康保険事業の運営、後期高齢者医療制度の運営、生活困窮者への支援

**【 施策の指標・目標の達成状況 】**

施策	指標・目標 ※ （↓）は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。		R6 年度 の実績	R7 年度 の目標値
5	1	特定検診受診率	35.1%	40.0%
	2	各種がん検診受診率	38.6%	40.0%
6	3	市民の健康維持・健康づくりなどへのサポートが進んでいると考える市民の割合	50.0%	60.0%
	4	朝食を食べない中学生の割合 （↓）	3.5%	0.0%
8	5	各種審議会委員に占める女性委員の割合	30.2%	40.0%
9, 10	6	高齢者や障がいのある人が生活しやすいまちだと考えている人の割合	29.5%	35.0%
	7	総人口に占める要支援および要介護認定者の割合 （↓）	6.1%	6.0%
11	8	妊娠期からの相談や経済的支援などの子育て環境が充実していると考えた市民の割合	35.8%	65.0%
	9	こども園における幼児教育が充実していると考えた市民の割合	50.1%	65.0%
12	10	1人当たり国民健康保険医療費 （↓）	500,093 円	400,000 円
	11	国民健康保険税の収納率	96.5%	100.0%
	12	生活保護費保護世帯数 （↓）	118 世帯	108 世帯

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
5	集団歯科検診から個別検診への移行など、状況に応じて、適切な取り組みを検討されたい。
6	連携協定を結んでいる企業と連携して、イベント数の増加に取り組まれたい。 どのようなイベントがあって、どのくらいの参加者数があるのか見えると良い。
7	民生委員の担い手不足について、制度改正の国への要望も含めて、適切に取り組まれたい。
8	セクシャルハラスメントなどのセンシティブな悩みを抱える方に対して、サポート制度の周知を徹底することが重要である。 外国人の相談窓口や活動支援などのサポート体制についても検討されたい。
9	高齢者福祉に関して、本市で足りない部分の把握に努めて、適切な取り組みを推進されたい。 特に高齢者が安心して、健康に暮らせる取り組みについて、今一度検討されたい。
10	福祉まるごと相談室について、知らなかったということがないように、制度の周知にしっかり取り組まれたい。
11	引き続き、子育て支援ガイド等により、子育て支援施策の全体像について、しっかりとした制度の見える化を図られたい。
12	国民健康保険の加入者数は減っているのに対して、医療費は増加傾向にある。 健康寿命は重要であるため、健康分野とも連携して、医療費減につながる取り組みを検討されたい。

学校・家庭・地域が一体となって、心豊かでたくましい子どもたちを育てるとともに、生涯にわたって多世代が学びの心を育て、豊かな文化があふれるまちづくりを目指します。

**【 施策の概要 】**

基本施策	施策を構成する主な事務事業
13 学校教育の充実	確かな学力の育成、ふるさと教育の充実、特別支援教育の充実、学校給食の充実、ICT 環境の整備
14 青少年の健全育成	スポーツ少年団活動への支援、少年愛護センターの運営、成人式を通じた地元意識の醸成
15 生涯学習の推進	生涯学習推進体制・地区推進体制の整備、図書館機能の充実
16 生涯スポーツの推進	スポーツ団体の育成・支援、体育施設の充実と効率的な活用
17 文化と芸術の振興	文化財の調査と保護・活用、郷土歴史資料館の管理運営、文化活動団体の支援、金津創作の森の管理運営

**【 施策の指標・目標の達成状況 】**

施策	指標・目標 ※ （↓）は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。		R6 年度 の実績	R7 年度 の目標値
13	1	小・中学校の施設が充実し、学習しやすい環境が整備されていると考える市民の割合	49.5%	60.0%
14	2	スポーツ少年団児童登録率	29.3%	38.0%
15	3	公民館講座受講者数	52,506 人	55,000 人
	4	生涯を通じた文化活動や学習の機会が充実していると考え市民の割合	30.3%	45.0%
	5	図書館来館者数	55,949 人	70,000 人
16	6	手軽にスポーツに親しめる環境が整っていると考える市民の割合	32.9%	50.0%
	7	ニュースポーツ参加者総数	936 人	1,200 人
17	8	郷土歴史資料館入場者数	4,519 人	7,000 人
	9	金津創作の森美術館入場者数	111,476 人	160,000 人

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
13	<p>学校施設的环境もちろん重要であるが、子どもに対してどのような教育がなされているのかが最も重要である。</p> <p>子どもが将来に希望を持てるように子どもに着目した事業を展開されたい。</p>
14	<p>部活動の地域移行を進める中で、日常的にスポーツに接している子どもの数を把握して、その人数を増やす取り組みを考えられると良い。</p>
15	<p>公民館に関して、コミュニティセンター化の方向性について、一度メリットとデメリットを整理して検討されたい。</p>
16	<p>スポーツの種目を限定せずに、市民が何らかのスポーツに親しめるような環境づくりができるとう良い。</p> <p>各施設の利用人数の推移を重視されたい。</p>
17	<p>縄文ピアスといった本市の文化財の魅力を PR できると良い。</p> <p>創作の森美術館については、観覧や体験以外の機能を持たせられるよう検討されたい。</p>

便利で快適な生活を送るために、上下水道や道路網、公共交通体系などを整備し、快適な住環境を備えた住みやすいまちづくりを推進します。

## 【 施策の概要 】

基本施策	施策を構成する主な事務事業
18 土地利用の適正化	計画的な土地利用の推進、地籍調査の推進
19 道路交通網の整備	国道の整備促進、市道・橋りょうの改良、道の駅の整備と運営
20 新幹線開業に向けたまちづくり	北陸新幹線の整備促進、芦原温泉駅周辺の整備、並行在来線への対応
21 機能的なまちの整備と景観への配慮	都市公園・緑地の良好な管理、市民・事業者との連携による景観活動の推進、デマンド方式による公共交通の運行
22 上水道事業の運営	水道施設の維持管理と運営、水道施設の計画的な更新
23 下水道事業の運営	公共下水道の維持管理と運営、下水道の整備促進

## 【 施策の指標・目標の達成状況 】

施策	指標・目標		R6 年度 の実績	R7 年度 の目標値
	※ （↓）は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。			
19	1	道路が効率的・効果的に整備されていると考える市民の割合	34.5%	50.0%
	2	都市計画道路の整備率	58.0%	62.0%
21	3	公共交通機関が効果的に運行されていると考える市民の割合	20.0%	30.0%
	4	景観に配慮したまち並み整備が行われていると考える市民の割合	26.1%	30.0%
22	5	安全でおいしい水が供給されていると考える市民の割合	80.2%	85.0%
23	6	計画区域内公共下水道接続率	95.1%	95.0%
	7	下水道使用料収納率	99.7%	100.0%

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
18	引き続き、都市計画マスタープランの改定について、着実に取り組まれない。
19	道路や橋梁について、長期的な目線で整備計画を検討されたい。
20	芦原温泉駅周辺だけでなく、あわら湯のまち駅周辺も含めて、今後は考えていく必要がある。
21	施設の案内など標識について、しっかりとした整備を検討されたい。
22	包括民営化の開始に伴い、管路整備などに集中して取り組まれない。
23	下水道施設については、着実な調査点検を進めるとともに、長寿命化について取り組まれたい。



福井県でもトップレベルの製造業を中心とした産業をさらに発展させるとともに、福井県随一の温泉観光地「あわら温泉」を中心ににぎわいと活力あるまちづくりを推進します。

**【 施策の概要 】**

基本施策	施策を構成する主な事務事業
24 観光の振興	国際的な観光まちづくりの推進、広域観光の推進、インバウンド誘客の推進
25 農業の振興	農地の適正管理、担い手の育成と支援、スマート農業への支援
26 林業の振興	林道の整備と管理、経営体制の強化
27 水産業の振興	水産業の振興、水産物の認知度向上
28 工業の振興	企業や事業者のニーズ把握、企業立地の促進
29 商業・サービス業の振興	地域ブランド化への支援、中心市街地の活性化、資金調達の円滑化と人材育成支援
30 雇用環境の充実	働きやすい環境づくり、勤労者福祉の向上
31 交流の推進	姉妹都市交流の推進、世界を視野に入れた人材の育成

**【 施策の指標・目標の達成状況 】**

施策	指標・目標 ※（↓）は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。		R6 年度 の実績	R7 年度 の目標値
24	1	観光入込客数	2,129,600 人	220 万人
	2	宿泊観光客数	681,100 人	100 万人
	3	外国人宿泊客数	9,195 人	5 万人
	4	観光地としての魅力があると思う市民の割合	40.2%	40.0%
25	5	坂井北部丘陵地の耕作率	74.3%	73.0%
	6	学校給食における地元食材の使用率	57.9%	70.0%
	7	新規就農者数（市の認定による） ※直近 5 か年の累計	15 人	15 人
	8	担い手の農地集積率	77.8%	76.0%
28	9	年間製造品出荷額	1,638.2 億円※	2,020 億円
29	10	日用品などの買い物がしやすいと思う市民の割合	55.5%	65.0%
30	11	働きやすい環境が整っていると思う市民の割合	34.0%	50.0%

※R6 年度は未公表のため、R5 年度の実績

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
24	<p>温泉だけでなく、市全体さらには他の市町とも連携して広域的に観光を進めていく必要がある。</p> <p>嶺北北部の広域的な観光の在り方、さらにはインバウンド対策について検討できる体制構築に取り組まれない。</p>
25	<p>農業の後継者不足という明確な課題がある中で、本市の農業を持続させていく施策について検討されたい。</p> <p>鳥獣害による被害件数も増加傾向にあるため、状況を注視しながら、適切な対策を検討されたい。</p>
26	<p>坂井森林組合と連携しながら、必要とされる林業施策を着実に推進されたい。</p>
27	<p>水産業について、本市の状況を注視しながら、適切な施策を推進されたい。</p>
28	<p>工業団地として指定されているエリアについて、市としてどのような方向性で進めるかを検討されたい。</p> <p>市内企業支援を進めるとともに、商業施設誘致についても検討ができると良い。</p>
29	<p>中心市街地の活性化について、JR 芦原温泉駅周辺だけでなく、あわら湯のまち駅周辺のエリアについても検討されたい。</p> <p>空き店舗解消や新商品開発支援について、着実に取り組まれない。</p>
30	<p>高校生や大学生の地元定着につながるように、インターンシップへの支援や奨学金返済支援などの支援制度を着実に進められたい。</p>
31	<p>引き続き、紹興市などの友好都市交流について、推進されたい。</p>

地域の主体性が求められる地方分権社会を迎え、自立した自治運営を可能とする強固で信頼される行財政基盤の確立を目指します。

そして、市民と行政が互いに自治意識を持ち、共働による市民主体のまちづくりを推進します。

**【 施策の概要 】**

基本施策	施策を構成する主な事務事業
32 市民主役のまちづくり	まちづくり活動への支援、市民の参画機会の充実
33 情報化の推進	電算処理システムの運用、個人番号カード（マイナンバーカード）の普及と利活用
34 人口減少対策	移住者支援の充実、出会いから成婚までの支援
35 持続可能な行財政の運営	多様な働き方の推進、ICT などの積極的な活用、ふるさと納税などの活用

**【 施策の指標・目標の達成状況 】**

施策	指標・目標		R6 年度 の実績	R7 年度 の目標値
	※ （↓）は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。			
32	1	市民の声が市政に届き、市民参画の機会が充実していると考える市民の割合	16.1%	25.0%
	2	行政情報が分かりやすく公開されていると考える市民の割合	45.2%	55.0%
	3	ホームページアクセス数（1 日平均）	1,136 件	1,200 件
34	4	UIJ ターンの移住者数（県およびあわら市の移住施策による）	97 人	100 人
	5	合計特殊出生率（15 歳から 49 歳までの年齢別出生率の合計）	1.39	1.63
35	6	実質公債費率 （↓）	8.3%	7.2%
	7	市税収納率（現年度分）	98.6%	100.0%
	8	将来負担比率	23.0%	60.0%

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
32	市民の意見を聞く機会について、ホームページ上などで仕組みはあるが、市民参画の機会を増やす取り組みについて、より良い方法を検討されたい。
33	行政の DX 化による業務効率化だけでなく、市民生活が便利になるような DX 化を進められたい。
34	人口減少対策については、結婚する人が増えることが重要である。 結婚支援策について、より良い施策を検討されたい。
35	小さい取り組みからでも、超過勤務時間などについて、縮減できるように取り組まれたい。 生成 AI の活用などによる業務効率化についても検討されたい。